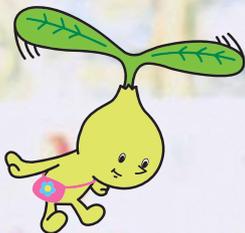


広報   
No.710  
令和5年

# いいいたて

4

2023



the most beautiful  
villages  
in japan

飯館村は「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。

[www.vill.iitate.fukushima.jp](http://www.vill.iitate.fukushima.jp)

今月の話題  
vol.34

古民家の趣を生かして改築し昨年6月にレストランをオープンしました。明るく開放的なホールにて。



ラカッセ  
田舎レストラン LaKasse  
佐藤雄紀さん(二枚橋・須萱)

ふるさとでの開業が子どもの頃からの夢でした。シェフの仕事は元々裏方ですが、独立したことで、お客様から直接「おいしかったよ」と言葉をかけていただけるのがうれしいです。メニューをさらに充実させ、営業時間もより利用しやすく、工夫を重ねていこうと考えています。

……飯館で叶えたい夢に向かって

農作業を手伝いに来てくださるボランティアの方々や全国の生産仲間など、避難中からお世話になっている皆さんに宿泊場所を提供したいーそれは、私の一番の理解者でもあった亡き夫と共に描いた夢でした。加工場を再整備してお弁当が出せるよう許可を取り、農泊施設を開業しようと準備を進めています。

ひさいわんと  
までい工房美彩恋人  
渡邊とみ子さん(前田・八和木)



農泊施設への活用を目指してリフォームしている自宅の1室で。ここに笑顔の集う日が楽しみです。

起業や事業拡大を支援します

スタートアップ補助金

問 村づくり推進課企画定住係 ☎0244-42-1622

スタートダッシュ補助金(村単独補助)

対象者 村の産業の振興に資する計画を有し、それに取り組む方で、国・県の事業採択を受けている方  
補助額 2年間で上限合計 200万円(定額補助)

スタートサポート補助金(村単独補助)

対象者 飯館村内で事業を実施したい方  
補助額 補助上限 30万円(事業費40万円×補助率75%)

ベンチャー起業補助金(村単独補助)

問 村づくり推進課商工観光係 ☎0244-42-1620

対象者 個人もしくは3名以上の団体  
補助額 上限 200万円(補助率50%)

雇用の確保・拡大を目指して



整備済みの用地(飯樋町)。  
面積は約1万8,000㎡。

問 村づくり推進課商工観光係 ☎0244-42-1620

村独自の「企業立地支援事業」で、工場取得費の50%(最大6,000万円)、機械設備取得価格の1/3(最大5,000万円)、用地取得費の40%(最大3,000万円)などを補助。固定資産税相当分を最大5年間交付するなどの創業支援策も準備しています。また、誘致に向けた用地の確保も積極的に進めています。

「ふるさとの担い手」の  
わくわくを支えたい!

村は、「明日が待ち遠しくなるような、わくわくする楽しいふるさと」を目指す施策の一つとして、「生きがいと生業の力強い再生と発展」に取り組んでいます。夢や目標に挑戦する方々を応援し、また、仕事や働き方の選択肢を拡大することで、昼間人口を増大させ、やがては住む人の増加にもつなげていきたいと考えています。

村は、令和3年度に新設した「スタートアップ補助金」や「ベンチャー企業創出支援事業」を活用し、村で夢を実現しようとする方々の起業や事業拡大を応援しています。また、「企業立地支援事業」で企業誘致を進め、雇用の確保・拡大にも努めています。

起業や新規事業に取り組む方の挑戦をバックアップします

ふるさとを彩る新たなチャレンジを応援します!

目次 CONTENTS

- 2 話題「チャレンジを応援します」
- 4 特集「飯館の春 花めぐり」
- 10 お知らせ「子ども・子育て支援事業」
- 12 お知らせ「令和5年度当初予算」
- 14 ほけんとふくし「医大実習報告」
- 15 お知らせ「役場情報2023」
- 19 ほけんとふくし「本田先生コラム」
- 20 お知らせ「3月議会定例会」
- 22 学びの広場「卒業式・卒園式」ほか
- 24 いいたて便り
- 26 話題のパレット
- 27 村からお知らせ
- 28 いいたてDIARY/までいの食卓
- 29 はなれていても/ふれ愛館だより
- 30 ふるさと資源 発掘図鑑
- 31 愛楽故郷味/ひとのうごき
- 32 ほっとNEWS



今月の表紙

表紙の写真は、「いいたて希望の里学園」卒業式終了後、最後のホームルームを終え、在校生が卒業生をお見送りしている場面です。涙で別れを惜しみながらも、互いに笑顔でエールを送り合いました。上の写真は、卒業生と担任の先生方との記念撮影。飯館村で過ごした日々を糧に、次のステップでも頑張ってくださいね。

# 飯館の春

4月に入って「なごり雪」が降ることも珍しくない飯館村。去りゆく冬と抜きつ抜かれつ進む春の営みは、やがてめくるめく展開で、景色を鮮やかに変えていきます。桜、レンギョウ、水仙、チューリップ、春の花が一斉に咲き出すと、景色の移ろいはまるで日めくりカレンダー。花景色のみならず、空も山も日一日と春色に染まっていきます。

## 飯館復興の桜

笹ノ沢地区に広がる『飯館復興の桜』。會田征男さん・ツタ枝さん夫婦（伊丹沢）が、震災前からコツコツ苗木を植え、手入れを続けてきた桜の名所です。ソメイヨシノやオオヤマザクラ約3,000本が可憐に咲いて、一帯を桜色に染め上げます。

## 桜まつり

今年は、コロナ禍でお休みしていた桜まつりが開催されます。開催セレモニーは、4月9日（日）午前11時からの予定。最新情報は、「飯館復興三千本の桜」HP（下のQRコード）からご確認ください。





いいたて花めぐり



① 前田・八和木地区の菜の花畑／なたねの生産が行われている地区。農地が菜の花色のパッチワークに。



② 大倉の桜／はやま湖の水辺を彩る桜並木。村内でいち早く桜が咲くエリアです。



③ 二枚橋のミズバショウ／植栽された水芭蕉が見事な群生に。比曽地区には自生の群生地もあります。



④ 大火山ツツジの森／自生するヤマツツジが山の斜面を覆います。例年の見頃は5月の中旬。

4月1日から入浴施設とイオラ(岩盤浴)を再開!

## 小さな旅の立ち寄り処

### 宿泊体験館きこり

☎0244-42-1012※電話受付午前9時～午後6時

■日帰り入浴

午前10時～午後8時※最終受付午後7時30分

大人(中学生以上) 1回400円

子ども(小学生) 1回200円

乳児・幼児 無料

■イオラ(岩盤浴)

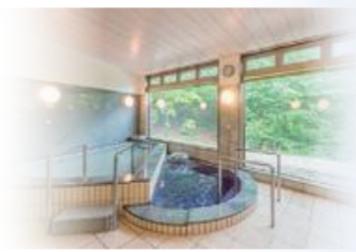
午前10時30分～午後5時25分※最終受付午後4時30分

大人(中学生以上) 1日1回1,000円

■宿泊棟改修のため宿泊はコテージ風客室のみ(食事なし)

大人(中学生以上) 1人1泊5,500円

子ども(3歳以上小学生以下) 1人1泊4,400円



### いいたて村の道の駅までい館

飯館村深谷字深谷前12-1

☎0244-42-1080

村内産の花を販売、ホールの天井を花玉が彩るなど、館内も花でいっぱい。地元の食材が味わえるレストラン、お土産コーナーや直売所も充実。



時 午前9時30分～午後6時

※11月～2月は午後5時まで

休 毎週水曜日

■併設のコンビニは無休(午前6時～午後8時)

■公衆トイレも無休(24時間)



## お花見のおともに いいたて春グルメ

TAKE OUT  
美味しさ持ち帰り!

※全ての情報は3月27日現在のものです。

### 村カフェ753(なごみ)

飯館村深谷字市沢193-1

☎0244-26-7536(FAXも同じ)



時 午前10時～午後4時(午後はデリバリー)

休 土・日曜日、祝日、年末年始

デリバリーは前日午後1時までにFAXで注文(注文用紙はホームページから)

※遠方の場合是要相談



国産小麦と天然酵母を使ったもちもちベグルが大人気。村の食材を生かした創作ベグルの多彩なラインナップとその味わいに感動します。



コーヒーは極久里珈琲の豆を使用。こちらはイタリアンブレンドのアイスコーヒー。

写真の春のベグルは左から「いいたてきな粉のベグル」「いいたてよもぎクリームあん」「いいたて桜色桜あん」。きな粉の大豆も八重桜の塩漬けもよもぎも飯館産です。

4月15日から今年の営業をスタート!  
予約受付中!

### 村民の森あいの沢 オートキャンプ場

☎0244-42-0511(管理棟・午前9時～午後4時)

■オートキャンプ場

1サイト1泊2,000円・日帰り1,000円

■フリーサイト(イベント広場)

1区画1泊500円・日帰り300円



詳細はHPから▶



互いを思いやりながら  
花景色との出会いを楽しんでください



花いっぱいの村を楽しんでもらおうと、庭や農地に花を咲かせているご家庭がたくさんあります。ぜひその花景色も楽しんでいただきつつ、私有地への無断の立ち入りはご遠慮ください。また停車の際などはご自身の安全に留意されると共に交通の妨げにならないようご配慮ください。「オープンガーデン飯館」(☎0244-43-2156)の会員有志が公開している場所もあります。

### 工房マートル

飯館村飯樋字原361

☎070-8498-5765

土日祝日に営業(臨時休業あり)

時 午前10時～午後3時

ろうそく作家・大槻美友さんの工房。村内・県内の花を使った詩情豊かなポタニカルキャンドルや雑貨が購入できます。制作体験はInstagramまたは電話で2日前までに予約(制作体験は平日も応相談)。



Instagram



### 田舎レストラン LaKasse(ラカッセ)

飯館村二枚橋字本町193-3

☎0244-42-1228

生産農家の顔が見える村内・県内の食材を生かした創作料理が人気。飯館産黒毛和牛も味わうことができます。旬を感じる季節ごとのメニューも◎。

時 ランチタイム午前11時～午後3時

※ラストオーダー午後2時

ディナータイム午後5時～午後8時

※ディナーは事前予約

休 毎週月曜日・木曜日



お店の味をお花見でも、職場や自宅でも!しかも予算に合わせて内容が相談できます。前営業日までに要予約。月・木曜日は配達可。他の日は店頭受け取りで。

### 気まぐれ茶屋 ちえこ

飯館村佐須字佐須200

☎0244-42-1303

飯館の食文化に親しめる貴重なスポット。心づくしの味わい深い料理に身も心も癒されます。人気のどぶろくも販売しています。

時 木・金・土・日曜日の 午前11時30分～午後3時

お弁当も含め完全予約制※5日前までに予約

休 月・火・水曜日※予約は応相談

※12月下旬から3月下旬は冬季休業



店内のお食事をそのままお弁当で。人気の凍み餅も付けることができます。おおむね5人分から。要予約。

### 手打ちうどんの店 糸びす庵

飯館村飯樋字町374-1

☎0244-43-2018

手打ちうどんも定食もボリューム満点。たくさんの具材、丁寧な調理、食べる人への思いやりにあふれたやさしい味わいに大満足。



時 午前11時～午後3時

※ラストオーダー午後2時30分(夜は予約のみ)

休 毎週火曜日、年末年始



定食の美味しさにも定評のある糸びす庵にテイクアウトメニューが登場。写真は味のよいジューシーな唐揚げ(12個入)。右奥は厚みと柔らかさにびつくり、サクサクのトンカツ。

## 飯館村赤ちゃん誕生及び子育て応援支援金

赤ちゃん誕生祝金 20万円 

(出産時に支給する赤ちゃん誕生祝金)

小学校入学時 子育て応援支援金 10万円 

(小学校及び義務教育学校並びに特別支援学校小学部入学時に支給する子育て応援支援金)

中学校入学時 子育て応援支援金 10万円 

(中学校及び義務教育学校並びに特別支援学校中学部入学又は進学時に支給する子育て応援支援金)

希望の里学園では前期課程から後期課程に進級する際に対象となります。

高等学校入学時 子育て応援支援金 20万円 

(高等学校及び特別支援学校高等部入学時に支給する子育て応援支援金)

- 対象となる方
- 父または母の住所が村にあり、かつ子どもも村に住所がある方。村に住所があれば村外の学校に通う場合も対象です。
  - いいたて希望の里学園に入学、進級する方。希望の里学園の児童生徒は村に住所がない方も対象です。

■ 対象となるご家庭に、案内や申請書をお送りします。記載の提出期限内に、健康福祉課福祉係まで郵送、または福祉係窓口で提出してください。

令和5年度に入学する方から対象です。

■ 国の「出産・子育て応援支援金」を活用した支援金も支給します。 

出産応援支援金 5万円 令和5年2月1日以降に母子健康手帳交付を受けた妊婦の方に、5万円を支給します。母子健康手帳交付の際に申請していただきます。

子育て応援支援金 5万円 令和5年2月1日以降の出生が対象。村に出生届を出した養育者に対し子ども1人あたり5万円を支給します。保健師による赤ちゃん訪問時に申請していただきます。

問 健康福祉課福祉係 ☎0244-42-1633 問 健康福祉課健康係 ☎0244-42-1637

## 奨学金返還支援事業補助金

「奨学金返還支援事業補助金」を新設し、「飯館村奨学金貸付条例」も改正。これまで奨学金返還を免除とする対象が村に就業する医師に限られていましたが、その対象を拡大し、「村内で就業・起業する方」(営農も含む)の奨学金の返還も免除または補助します。改正した条例の施行は令和5年4月1日からで、就業期間に応じて返還が免除されます。

高等学校等の通学費等助成もあります。



※飯館村奨学金貸付条例についてはこちら  
問 村づくり推進課商工観光係 ☎0244-42-1620 問 教育課学校教育係 ☎0244-42-1631

## 出産育児一時金

国は、令和5年4月1日の出産から、出産育児一時金を大幅に引き上げ、これまで42万円だった支給額が**50万円**となりました。



問 住民課住民係 ☎0244-42-1619

## 不妊治療費助成事業

不妊治療を受ける夫婦(事実婚も含む)の自己負担の一部を村が助成します。県の補助・高額医療制度の払い戻しを除いた自己負担分を1年度につき**最大50万円**、最長3年間助成します。詳細はお問い合わせを。

問 健康福祉課健康係 ☎0244-42-1637

NEW!  
令和5年度

飯館村  
子ども・子育て  
支援事業



ふあいと!

子どもは村のたからもの！  
子育てする場所の分け隔てなく、子ども達とご家庭を、  
子どもの成長段階に沿って、支援していきます。

## 飯館村の新しい子ども・子育て支援事業 安心して子育てができる、やさしい村でありたい

令和5年度を迎えた4月1日から、村の子ども達を対象に、さまざまな子ども子育て支援事業がスタートしました。

子どもの誕生を祝い、子育てするご家庭や就学・進学する児童生徒を応援する「赤ちゃん誕生祝い金」「出産・子育て支援事業」「子育て応援支援金」などを新設しました。これらを活用し、子育てする場所の分け隔てなく、子ども達とご家庭を強力に支援していきます。

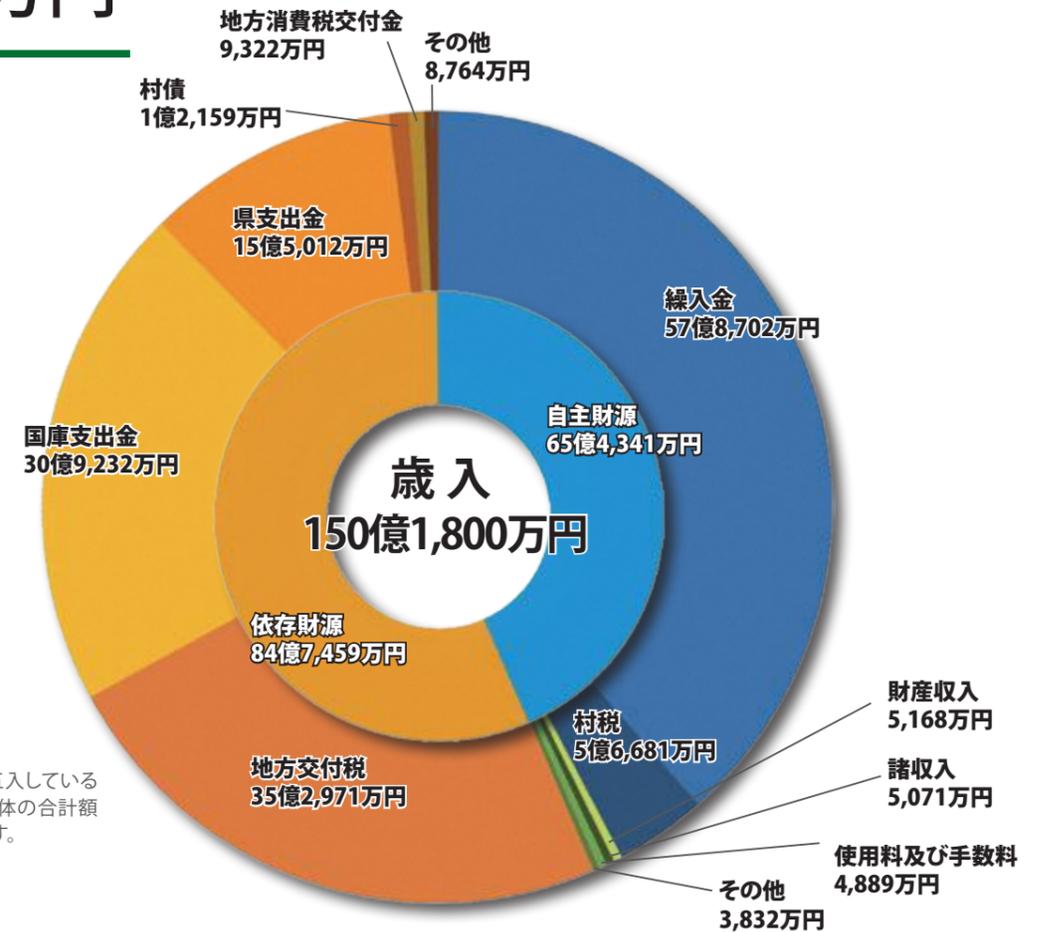
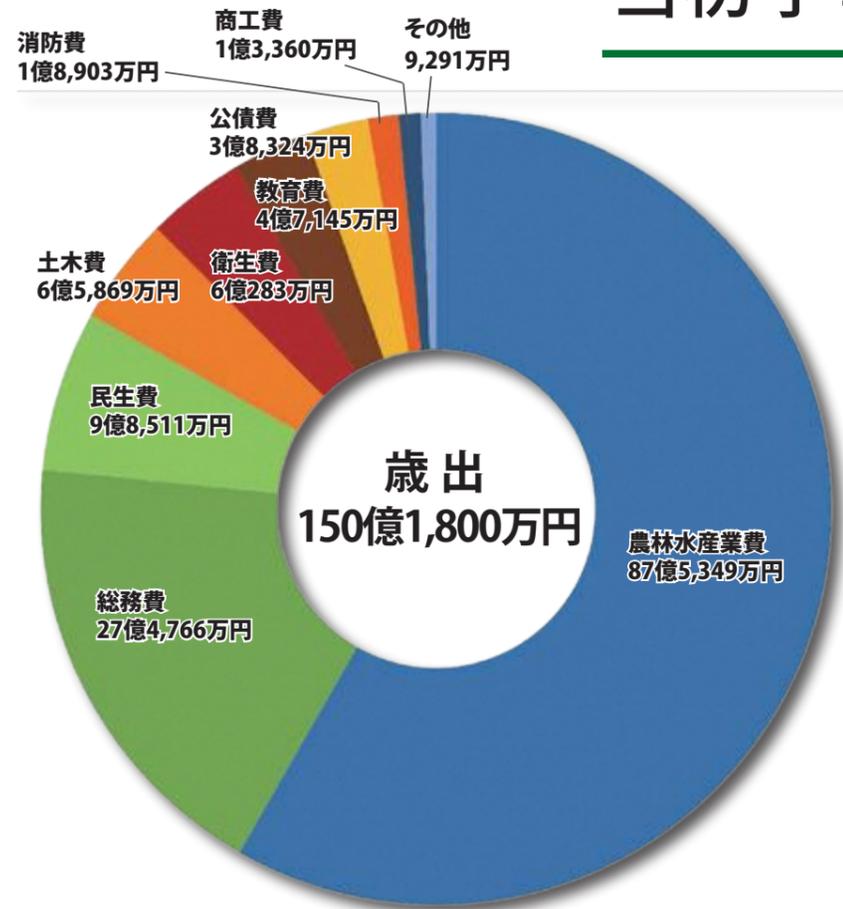
さらに国も、令和5年4月1日の出産から「出産育児一時金」を大幅に引き上げた他、「出産・子育て応援支援金」も継続されます。手を取り合って、子どもと子育て世帯を応援する機運が、社会全体で高まってきています。

また村は、「奨学金返還支援事業補助金」を新設し、村の奨学金制度も改正。奨学金の返還免除の対象に、「村内で就業・起業する方」を加えました。次世代の教育を支援しながら、ふるさとを担う人材の育成にも力を入れていきます。

また、子どもを持ちたいと願う方の力になるべく、村独自の不妊治療費助成事業も今年度からスタートしました。相談を含め、詳しくは担当係までお問い合わせください。

令和5年度

当初予算150億 1,800万円



金額は1万円未満を四捨五入しているため、各項目の合計額と全体の合計額が一致しない場合があります。

令和5年度一般会計

歳出

令和5年度における村の支出総額

昨年度に続き「村民の今を支える取り組み」「村の将来への布石となる取り組み」の2つの力点のもと、①次世代・継承、②なりわい、③10年後を見据える、④帰還困難区域、という4つの指標を設けて事業の組み立てを行っています。また、復興創生期以降も継続すべき事業、民間活力や新たな担い手に移行すべき事業、復興創生期終了と共に縮小・廃止していく事業など、将来予測を踏まえた事業の組み立てにも注視して、予算・財源の検討を行いました。

令和5年度一般会計

歳入

令和5年度における村の収入総額

一般会計当初予算は150億1800万円であり、対前年度比33.0%、金額にして37億3000万円の増となりました。歳入の半分以上が依存財源によるものですが、前年度に比べ自主財源の割合が大きくなっています。令和5年度の予算は、「明日が待ち遠しくなるような、わくわくする楽しいふるさと」の実現を目指す3回目の当初予算となります。また、国が定める第2期復興創生期間の中間年にあたります。

令和5年度当初予算

令和5年度一般会計当初予算額は、150億1,800万円であり、過去2番目に金額が大きい当初予算となりました。

「村の将来への布石」となる事業として、令和5年度は、「昼間人口」(日中に村内で働く人や活動する人・交流する人)をこれまで以上に増加させるよう取り組みを進めます。また、子どもの誕生を祝い、子育てするご家庭、就学・進学する児童生徒を応援する事業を新設し、村の希望であり宝である子ども達や次世代人材を、内外の隔てなく、強力に支援することとしています。

また、復旧・復興事業分の予算額は約111億円であり、予算全体の約74%を占めています。

国民健康保険特別会計	7億9,461万円
簡易水道事業特別会計	1億5,719万円
農業集落排水事業特別会計	5,276万円
介護保険特別会計(事業勘定)	10億5,637万円
介護保険特別会計(サービス勘定)	659万円
後期高齢者医療特別会計	7,685万円

令和5年度 特別会計

特定の事業を特定の収入で行うため、一般会計とは分けて設けた会計です

令和5年度版

おしらせ

## 飯舘村役場情報2023



飯舘村役場の各課・各係の  
一覧を掲載します。業務  
内容や連絡先をご確認く  
ださい。

また4月1日付で人事  
異動がありました。新年  
度の体制についても併せ  
てお知らせします。

15ページから18ページ  
までを、広報から取り外  
して使うことができます。  
村内施設の情報もあ  
ります。ぜひご活用くだ  
さい。

P15~P18は広報から取り外してご活用ください。

## 福島県立医科大学保健科学部の村内実習について報告します

村は、令和4年2月に、福島県立医科大学と包括連携協定を締結しました。この協定は、村民の健康福祉に関する取り組みの推進を目的とし、実習場所や村への移動手段の提供などを通して、同大学の医療人材育成に協力するものです。村内実習の初年度となった令和4年度は、「いいたてホーム」で計10回、「いちばん館」で計2回の実習が実施され、村内の関係機関はもとより多くの村民の皆さんにもご参加・ご協力をいただきました。今年度を振り返り、同大学から届いたメッセージをお伝えします。

作業療法学科  
曾根稔雅先生  
福島県立医科大学保健科学部



福島県立医科大学保健科学部作業療法学科の1・2年生が、「いいたてホーム」と「いちばん館」で実習を行いました。

2年生は「いいたてホーム」において、新型コロナウイルス感染症の影響で、実施が困難な時期もありましたが、5月～12月の期間中に合計10回の実習を行いました。教員による作業療法場面の見学やレクリエーションの提供を通して、対象者への基本的な関わり方や作業療法評価について学びました。また、東日本大震災当時の取り組みなど、貴重な経験や教訓について施設の職員の方々からご教示いただきました。

1年生はレクリエーションを自ら企画・運営し、「いちばん館」で7月に2回の実習を行いました。サポートセンター「つながっぺ」の利用者や各地域の皆さんにご参加いただき、レクリエーションの活用方法やコミュニケーションスキルを学ぶことができました。

これらの実習は学生たちが学内で学んできたことを活かす機会となり、村民の皆さんとの交流を通して、多くのことを学ばせていただきました。また、私たち教員から見ても学生たちの成長が感じられる貴重な実習の場となりました。今後は、これらの実習場面以外でも、村民の皆さんと交流をさせていただく機会が増えてくることと思います。引き続きご指導のほど宜しくお願い申し上げます。

東日本大震災による原発事故の影響から活動が制限された中、地域の方々のため医療・福祉を実践し続けた飯舘村の思いに深く感銘を受けました。福島の地域医療を学ぶ上で飯舘村での実習は作業療法士の力を福島の未来にどう還元できるのかを考える機会となりました。



牛来桜子さん  
2年生

飯舘村での実習を通して

今回の実習は私たち学生にとって初めての实習でした。本番では、予行練習で気が付かなかった改善点を多く得られただけでなく、参加者の方と一緒に楽しくレクリエーションを行えたことが嬉しかったです。この経験を活かし、より良い作業療法士を目指して頑張ります。



渡邊沙耶さん  
1年生



「いいたてホーム」での臨床実習



「いちばん館」でのレクリエーション実習

# 令和5年度 村の組織と職員の配置

令和5年4月1日付で、職員の人事異動が行われました。  
令和5年度の体制は次のとおりです。

※太字になっているのが今回の異動者です。  
※紙面の都合上、主に正規職員・任期付職員・派遣職員を記載し職名を一部省略します。(新)新規採用職員 (任)任期付職員 (市町村名)派遣職員 (併)他部署との併任 (兼)他業務との兼任



退職者(令和5年3月31日付) 藤井一彦 / 鈴木美智子

# 飯舘村役場 各係連絡先

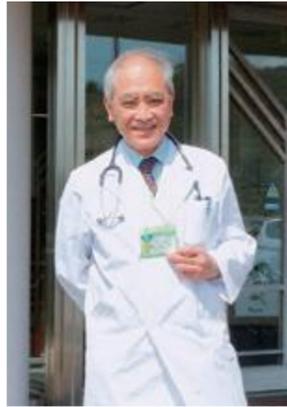
総務課	総務係 ☎0244-42-1611	消防・防災、選挙、法令、行政区長会、情報公開等
	財政係 ☎0244-42-1612	予算・決算、入札、地方交付税、寄附金・ふるさと納税の受け付け等
村づくり推進課	企画定住係 ☎0244-42-1613	総合計画、復興拠点整備、広報・広聴、情報通信基盤整備、景観、移住・定住、空き家・空き地バンク等
	商工観光係 ☎0244-42-1620	企業支援、就労・雇用支援、観光関係等
住民課	住民係 ☎0244-42-1618	戸籍、住民票、各証明発行、国民健康保険、後期高齢者医療、国民年金、ごみ、防犯、浄化槽、畜犬、マイナンバー等
	税務係 ☎0244-42-1615	地方税の賦課・収納、所得税・住民税の申告相談、各税証明発行等
産業振興課	農政第一係 ☎0244-42-1621	農業振興、農業復興、就農支援、農地中間管理事業、畜産等
	農政第二係 ☎0244-42-1625	営農再開支援事業、環境再生事業、獣害対策、モニタリング、水田農業、林業、中山間・多面的事業、土地改良区等
農業委員会事務局	(農政第一係内) ☎0244-42-1621	農業委員会運営、農地法許可申請関係
建設課	建設管理係 ☎0244-42-1624	村営住宅の入退去・維持管理、簡易水道・農業集落排水施設の維持管理等
	土木係 ☎0244-42-1623	村道、橋梁、河川整備・維持管理等
	農業基盤再生係 ☎0244-42-1610	農業基盤整備、農林土木施設の整備・維持管理等
教育課	学校教育係 ☎0244-42-1631	認定こども園、義務教育学校、学童保育、預かり保育、スクールバスの運営等
会計室	☎0244-42-1627	村行政に関する会計業務
議会事務局	☎0244-42-1628	村議会運営に関すること
生涯学習課 交流センター「ふれ愛館」	生涯学習係(交流センター) ☎0244-42-0072	生涯学習事業、青少年事業、男女共同参画、読書推進、文化財保護、伝統文化関係等
	(スポーツ公園管理棟) ☎0244-42-0152	社会体育、スポーツ公園、パークゴルフ場等
健康福祉課 いちばん館	健康係 ☎0244-42-1637	健康増進、成人健診、乳幼児健診、子育て相談、心の相談、予防接種等
	福祉係 ☎0244-42-1633	高齢者福祉、介護保険、介護認定、介護予防、障がい者福祉、児童手当、子育て支援、児童福祉等
	地域包括支援センター ☎0244-42-1626	高齢者総合相談、高齢者権利擁護相談、介護予防ケアマネジメント等

本田先生に聞く

うた  
こころとからだといのちの詩

第5回

子育てさまざま 一世につれ、国につれ



いいたてクリニック  
本田 徹先生

これが、カンボジアに行くと、クローマという木綿地の、バスタオルよりも長い赤や緑の鮮やかな

そのために、家に残された子どもの栄養や発育、精神発達、歯科衛生に重大な影響が生

私のもと小児科医だったこともあり、また東京で医療協力NGOの役員も長年務めてきた関係で、カンボジアや東ティモール、タイといった国々に何度も足を運び、現地での母子保健活動に携わってきました。両親とくに母親の愛情が細やかで、貧しくても、できる限り子どもをつつがな成長を祈りつつ育てている親の姿は、日本も海外も変わりありません。

私自身3〜4歳頃までは、母の背中に兵児帯（へこおび）というものでくくりつけられ、どこにでも連れられていった幼年時代の記憶があります。

な縞模様様の布で赤ちゃんを包み、遠路をいとわず、診察や乳児健診に来るお母さんを見かけます。クローマはまさに万能の布で、男の人の腰巻や女性のスカートになり、重い野菜を運ぶ風呂敷にも変身します。

カンボジアの農村でも近年は現金収入がないと、生活が成り立たなくなり、子どもを祖父母に任せて、首都のプノンペンに親が出稼ぎに行く家庭が多くなりました。昭和30〜40年代の日本の農村と似た状況になっているのです。

じ、地域の看護師さんや保健ボランティアが解決に取り組んでいます。

日本はいま子どもの孤食や欠食、過度の肥満の問題などが深刻になっており、一人ひとりの子どもに真摯に向き合い、地域全体で、愛情をもって守り育てていくことが求められる時代になったと痛感します。



2006年東ティモール内戦時 国内避難民キャンプ地での診察

子ども・子育て支援事業をパワーアップ

令和5年度の飯館村の子ども・子育て支援事業をP11で紹介しています。

日本は、人口に占める高齢者の割合が増加する「高齢化」と、若年人口の減少につながる「少子化」が同時に進行する『少子高齢化社会』となっています。この状況を受け、国は、出生率の上昇を目指し、「結婚、妊娠、子ども、子育てに温かい社会」の実現を掲げて、さまざまな施策を行っています。令和5年4月1日には「こども基本法」が施行され、今後、市町村が地域の状況やニーズに合わせて事業計画を立て、国・県のサポートを受けながら「子ども・子育て支援事業」を実施していくことになっています。

今号11ページに掲載した飯館村の新しい「子ども・子育て支援事業」のページもぜひご覧ください。

主な施設の連絡先

いいたてスポーツ公園

飯館村伊丹沢字山田380番地  
☎ 0244-42-0152 FAX 0244-42-1300  
午前9時～午後9時  
※利用申込がない平日は午後5時15分まで  
年末年始休館  
※予約がない土・日・祝日は休館

交流センター「ふれ愛館」

飯館村草野字大師堂17番地  
☎ 0244-42-0072 FAX 0244-42-0860  
午前8時30分～午後9時  
※利用申込がない平日は午後5時15分まで  
年末年始休館  
※予約がない土・日・祝日は休館

いいたて移住サポートセンター

飯館村伊丹沢字伊丹沢578番地1(までいな家)  
☎ 090-8280-5464 メール iju@iitatelife.jp  
平日午前9時～午後5時30分(土日祝は予約のみ)

いいたて希望の里学園

飯館村伊丹沢字山田380番地  
☎ 0244-42-0003  
※入学などに関するお問い合わせは  
飯館村教育委員会 ☎ 0244-42-1631

までいの里のこども園

飯館村伊丹沢字山田380番地  
☎ 0244-42-0229  
※入園などに関するお問い合わせは  
飯館村教育委員会 ☎ 0244-42-1631

飯館村社会福祉協議会

飯館村伊丹沢字伊丹沢571番地  
(陽だまりの家)  
☎ 0244-42-1021 FAX 0244-42-1040

サポートセンター「つながっぺ」

飯館村伊丹沢字山田380番地  
(いいたてクリニック内)  
☎ 0244-26-5207  
※利用登録は飯館村社会福祉協議会(上記)へ

いいたてパークゴルフ場

飯館村伊丹沢字山田406番地4  
☎ 0244-42-1571 FAX 0244-42-1572  
午前9時～午後5時(11月は～午後4時)  
4月～11月開場 毎週水曜日定休



令和5年3月議会定例会は、3月1日から14日までの日程で開かれました。一般質問は3・6日に行われ、村議員が村政の重要な課題等について村側の考えを質しました。議会審議は14日に行われ、提出された議案は全て原案どおり可決されました。



今議会でも可決された議案など

紙面の都合上、一部省略しています

令和4年度一般会計補正予算

歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ3億5466万9千円増額し、総額129億9152万3千円とする。

令和5年度一般会計予算

歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ150億1800万円と定める。

令和5年度 国民健康保険特別会計予算

令和5年度 簡易水道事業特別会計予算

令和5年度 農業集落排水事業特別会計予算

令和5年度 介護保険特別会計予算

令和5年度 後期高齢者医療特別会計予算

飯館村個人情報保護法施行条例

飯館村個人情報保護審査会条例

飯館村債権管理条例

飯館村長泥公園設置条例

飯館村消防団設置等に関する条例の一部を改正する条例

飯館村奨学金貸付条例の一部を改正する条例

飯館村民家園ふるさと設置条例の一部を改正する条例

東日本大震災に伴う村税の減免に関する条例の一部を改正する条例

村長村政報告

紙面の都合上、一部省略しています

宿泊体験館「きこり」

平成29年5月に素泊まりによる宿泊の営業を再開し運営してきましたが、昨年8月から福島県沖地震による被害箇所改修工事を進めており、工事の安全管理のため、昨年10月から浴室利用を休止し、現在はコテージのみの営業となっています。

なお、昨年4月から本年1月末までの全体利用者数は1425人で、このうち宿泊利用者は342人です。

今後は、今春の再オープンを予定しており、村唯一の宿泊施設として交流人口の拡大を図っていきます。

道の駅までい館

昨年4月から1月末現在までのレジ客数は、道の駅までい館が11万6109人、セブンスイレブンプが20万4517人です。

道の駅では、精肉販売の開始

や牛肉等の注文販売、レストランメニューの見直しを行うなどの経営努力により、安定した運営を行っているとの報告を受けています。今後も、株式会社までいガーデンビレッジによる、村の復興拠点施設を活用した交流人口の拡大と地域の活性化が進展するように、努めていきます。

マイナンバーカード

1月末現在、本村の申請率は約6割となっているものの、交付率は46・4%となっており、広報紙や全戸チラシによる広報、土日の臨時窓口開設に加え、地域サロンや企業等を訪問しての周知活動、飯館村社会福祉協議会にご協力をいただいた際の個別訪問、さらに職員による村内出張申請の受け付けを行うなど、マイナンバーカード取得の推進に向けて、取り組んでいます。

村民の帰還状況

2月1日現在の村への帰還者は639世帯、1226人で帰還率は

約25・5%です。これに、震災後の転入者225人といいたてホームの入所者等を合わせ、村内の居住者は791世帯で1502人です。避難を継続している方は、県外避難者が159人、県内避難者は、福島市に2074人、南相馬市に290人、伊達市に254人、川俣町に243人など、合わせて3138人です。

新型コロナウイルスワクチン接種

2月1日現在の初回(1・2回目)接種率は86・5%です。オミクロン株対応2価ワクチン接種率は62・3%で、国より20%、福島県より10%高い接種率です。なお昨年当初から、村内「いちばん館」で集団接種を進めてきましたが、村内接種希望者の接種が完了したことから、1月26日の集団接種で村内の接種は終了しました。いちばん館での接種は、初回接種と合わせ延べ4986人でした。

鳥獣被害対策

1月31日現在の捕獲数は、主な

ものでイノシシ77頭、サル93匹です。また、昨年度に引き続きサル駆除プロジェクトチームを編成し、サルの大型囲い罠2基による捕獲を実施していますが、この罠による捕獲数は同日現在で53頭です。今後、整備中の有害鳥獣減容化施設の活用と併せて、対策を進めていきます。

建設関係

農業基盤整備促進事業は村内15行政区(佐須、飯樋町、長泥、蕨平、関根・松塚を除く)で、今年度から行政区の工事の調整役として工事協議担当者を選任していただき、地元と密に協議をしながら進めています。

また、基盤整備工事の36件の工事は20件の工事が完成しており、残りの工事についても早期完成に鋭意努めています。

ため池の放射性物質対策工事は、今年度8か所(長橋、高森、寄沢、向押、笹ノ沢第3、伊丹沢、仲下、新殿)のため池で対策が完了しました。

教育委員会関係

令和5年度の就園・就学見込み数は、までのりの里のこども園は、5歳児10人の卒園児を含む13人の減少に対し、新入園児は4人で、現在より11人減の33人です。いいたて希望の里学園は、卒業生5人の減少に対し、新入生6人を含む10人の増加で、現在より6人増の83人です。園児・児童・生徒の合計人数は、現在の119人より3人減の、116人となる見込みです。

2月19日に芸能発表祭を開催しました。9団体が出演し、踊りや歌、伝統芸能など日ごろの成果を披露していただく中、移住されてこられた村民によるバイオリンやバンド演奏の披露や、ゲストのマジシャンや夫婦漫才による演芸もあり、参加者全員が懐かしさとともに、目新しさを感じつつ笑顔に包まれました。特に「八木沢の田植踊」については震災後初めての披露・復活となり、全国放送でも取り上げられました。

学園 NEWS

食を考える会から  
特製クッキーを贈呈



3月9日、いいたて希望の里学園で、「飯館村食を考える会」から学園の卒業生へ、卒業祝い菓子贈呈式が行われました。今年はお祝いの気持ちを込めて、飯館村を型取った特製クッキーが贈られました。祝い菓子を受け取った卒業生を代表して渡辺凌駕さんが、「伝統として続いてきたこの贈呈式で地域の方の想いを知りました。地域のために何ができるのかを考えて過ごしてい見事に村を型取ったきたい」とあいさつしました。大豆とごまたっぷりクッキー。

学園 NEWS

「支援を返していこう」  
5年生が地震救援募金



3月10日、いいたて希望の里学園の5年生が、トルコ・シリア地震救援募金23万3,171円を飯館村社会福祉協議会に手渡しました。社会科で自然災害について学ぶ中、トルコ・シリア地震の被災地に関心を寄せ、募金活動を企画したそう。全校に募金を呼びかけた他、村役場などを訪れて支援を募りました。ずっしり重い募金箱を託した児童は「私達の周りにやさしい人がたくさんいることを知りました」「恩返しを募金と一緒に届けたい」と話していました。



いいたて希望の里学園 卒業式

3月13日、卒業式が行われ、5人の9年生が巣立ちの時を迎えました。今年の卒業生は、草野・飯樋・白石小学校それぞれの卒業式と閉校式、そしていいたて希望の里学園の開校式などを全て経験してきた学年です。また、仮設校舎やコロナ禍による制限など様々な困難も乗り越えてきました。卒業生を代表して礒山姫夢(ひな)さんが「培ってきた伝統をさらに発展させてほしい」と答辞を述べ、支えてくれたすべての学校関係者や家族、後輩たちへ感謝の気持ちを伝えました。式歌の合唱では、在校生も涙を流し、会場が大きな感動に包まれました。



学園 NEWS

交通安全標語応募で  
地域貢献活動に協力

各賞の代表が副賞の図書カードを受け取りました



3月20日、いいたて希望の里学園で、交通安全標語の表彰式が行われました。標語を募集したのは飯館ライオンズクラブです。児童生徒77人が作品に応募し、山田安土さん(5年)の「ちょっと待て 未来の光が 歩いてる」、高橋拓真さん(6年)の「気をつけてながら運転 事故の元」、橋本雪那さん(8年)の「眠いとき 無理に運転 やめようよ」の3点が最優秀賞に選ばれました。同クラブの長谷川長喜会長(宮内)が学園の協力に感謝し、表彰を行いました。

こども園 NEWS

「楽しかった!また来てね」  
ただじゅんさん公演



3月22日、「ただじゅん」こと舞台実演家で表現インストラクターの多田純也さんが、までいの里のこども園へ。コロナ禍以来、3年ぶりの公演です。和太鼓あそび、伝承あそび、演劇的な表現あそびなどが盛りだくさんに展開されると、子ども達は瞳を輝かせて歌ったり踊ったり、うちわで風を起して無数の花紙を舞わせたり、「あそび」の世界に入り込んで楽しんでいました。公演の終わりには「楽しかった」「またやりたいね」と子ども達のはずんだ声が聞こえてきました。



までいの里のこども園 卒園式

3月17日に卒園式が行われ、10人の園児が、思い出深い園舎を巣立ちました。石川幸男園長から一人ひとりに修了証書が手渡されると、園児達は凛とした表情で、そして大きな声で「ありがとうございます」と答えました。また、保護者に花束を手渡したり、毎日の感謝をそれぞれの言葉で伝えたり、立派に成長した姿が見られる式となりました。歌を歌う場面では、感情があふれだし涙を流しながら歌う子もいました。園児たちの姿に、式を見守る保護者や先生方も涙を流し、感動的な卒園式となりました。



## 村の歴史がまたひとつ 交通事故死者ゼロ2000日!



岸孝志相双地方交通対策協議会長(左)から表彰を受けた杉岡村長。今後も記録更新を目指します。

3月17日、『交通事故死者ゼロ2000日達成表彰伝達式』が、村役場で行われました。平成29年に村内で発生した死亡事故以来、令和5年3月10日で2000日を達成しました。これまで1000日を達成したことは5回ありましたが、今回の記録は飯館村の歴史の中でも初めてのことで、避難指示解除から時間の経過とともに交通量が増える中での記録更新は、村民の皆さんの交通安全の意識や、交通安全協会の方々の活動があるからです。これからも途絶えることなくこの記録をつなげていきたいですね。

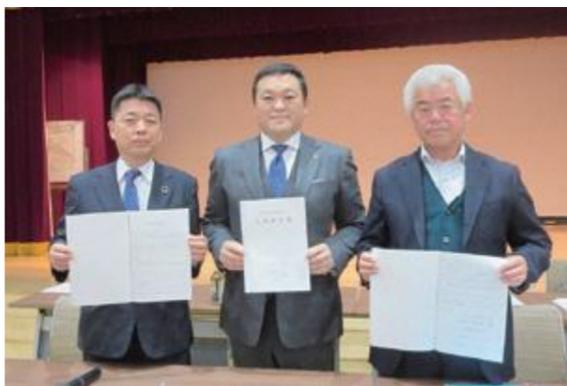
## あぶくまロマンチック街道 沿線自治体の協議会が発足

阿武隈山地を縦断する国道399号の沿線では震災前から住民と自治体が連携して地域の魅力を発信してきました。この沿線5市町村(飯館、浪江、葛尾、田村、川内)が、新たに『国道399号あぶくまロマンチック街道沿線自治体連絡協議会』を設立し、3月2日に発足式を行いました。今後は、エリアの製品のブランド化、情報発信、観光誘客などを共同で推進します。初年度は、地域ブランドの認証に向けた取り組みや、製品の総合パンフレットの作成などを行う予定です。



発足式は川内村で行われました。協議会には5市町村の首長(前列)が参加。地域づくり団体とも連携します。

## 長泥地区の避難指示解除に向け 国・県との協議に同意



左から、イタテバイオテック株式会社の石原健二郎取締役、杉岡村長、嶋原新一長泥行政区長

3月26日に開催された長泥行政区総会において、本年春の大型連休あたりとしていた特定復興再生拠点区域及び区域外の長泥曲田公園の避難指示解除日に関して、村が国、県と協議を行うことが、了承されました。また、同地区の区域外に誘致する資源活用型堆肥製造施設との立地協定は、同行政区が立会人となり、村と運営会社であるイタテバイオテック株式会社との間で締結されました。同社は施設整備を進めるとともに、地域貢献等に関して協定等を結ぶことも検討しています。

## 菊池製作所福島工場 春の火災予防運動消防訓練

3月2日、株式会社菊池製作所福島工場で、『令和5年全国春季火災予防運動消防訓練』が行われました。昨年村内で初めて発足した企業消防隊による訓練で、防火意識の高揚と共に、同隊と消防署の連携協力体制の強化を目的としています。今回の訓練では、第3工場内で稼働中の機械から出火したという場面を想定。早期の119番通報、初期消火、従業員の避難誘導等を行いました。従業員も約100人が訓練に参加し、防火・防災に対する関心の高さが見受けられました。



企業消防隊(左と円内)が初期消火にあたり、その後出動した飯館分署消防隊(右)が消火活動に加わりました。

## 行政区委託の除雪を再開 地元の協力が大きな力に



昨冬は5行政区に除雪を委託しました。ご協力ありがとうございました。写真は前田行政区。

冬の村道の除雪について、村は毎年シーズン前に担当者会議を開き、体制を整えて取り組んでいます。昨冬は一次路線を2回、二次路線を2回、拡幅・吹き溜まりの除雪を2回実施しました。また昨冬は、除雪作業の一部を行政区に委託しました。震災後初の再開です。地域にお住まいの方に生活道路をいち早く除雪いただけることは、地域の安心・安全にもつながります。村は、来季以降も村民の皆さんとの協力体制を整えながら、冬期間の交通の安全確保に努めてまいります。

## 元気アップポイント事業 6の方が50ポイントを達成

3月16日、交流センター「ふれ愛館」で、『いいたて元気アップポイント事業表彰式』が行われました。今年度の受賞者は、一刀百さん(上飯樋)、眞柴優佳さん(飯樋町)、菅野幸子さん(関根・松塚)、鈴木みつ子さん(深谷)、佐藤勝見さん(前田)、佐藤チヨ子さん(前田)の6人です。令和4年度の1年間で、ふれ愛館では約900冊の本の貸し出しがありました。本を借りるだけでなく、生涯学習事業に参加してポイントを貯めることもできます。ぜひご家族でご参加ください。



道の駅までい館で使用できる商品券とともに、1年間で50ポイントを貯めた元気を表彰しました。

## 消防飯館分署だより 令和5年全国春季火災予防運動を実施しました



3月1日から7日までの1週間、春季火災予防運動が実施されました。村でも関係機関による火災予防運動がそれぞれに展開され、火災時や災害時の対応の重要性を再認識するよい機会となりました。



飯館村消防団は防火パレードを行い、村内各地区で焼却行為等による火災防止を呼び掛けました。

飯館村女性消防隊・村社会福祉協議会合同での高齢者世帯防火訪問。住宅用火災警報器の設置状況を確認し、女性消防隊から防災用品が9点入った「非常用持出袋」を贈呈しました。



飯館分署は車両火災予防のため、スクールバスの立入検査を行いました。

## 飯館村で健やかに暮らすために



動画投稿アプリ・YouTube「ふくしま再生の会」公式チャンネルで当日の映像が公開されています。

2月24日、地域活性化センターいちばん館で健康セミナー『飯館村で健やかに暮らすために』が同実行委員会主催で開催されました。村をはじめ医療機関や関連団体、支援者の方々が集い、将来にわたる「村民の健やかな暮らし」をテーマに発言。参加した大勢の村民と情報や考え方を共有し、対話を深めました。

## 飯館の彩り 草木染めの作品展



2月22日から28日、旧白石小学校で「飯館までい文化事業団」が『いたての草木の色展』を開催しました。身近な植物を使って、さまざまな手法で染めた糸や布、Tシャツなど、村民の作品を展示し、草木染めの魅力を紹介しました。



## 3月の村の動きと主なできごと

- 15・14日・3月議会定例会(議場)
- 2日・R399(あぶらま)沿線自治体連携に向けた5市町村会議及び協議会発足式(川内村・いわなの里)
- 5日・飯館村消防団春季火災予防運動防火パレード(交流センター「ふれ愛館」他)
- 8日・学校運営協議会(村役場)
- 13日・いたて希望の里学園卒業式(いたて希望の里学園)
- 14日・飯館YOUTOKO発見ツアー検討委員会(交流センター「ふれ愛館」)
- 16日・元気アップポイント表彰式(交流センター「ふれ愛館」)
- 17日・いたて美しい村づくり推進審議会(村役場)
- 17日・までのりの里のこども園卒園式(までのりの里のこども園)
- 20日・交通事故死者ゼロ2000日表彰伝達式(村役場)
- 20日・新型コロナウイルス感染症対策本部会議(村役場)
- 22日・農業委員会定例総会(村役場)
- 22日・文化財保護審議会(交流センター「ふれ愛館」)
- 23日・脱炭素×復興まちづくりプラットフォームフォーラム設立会合(大熊町大熊インキュベーションセンター)
- 24日・土地改良区通常総代会(交流センター「ふれ愛館」)
- 24日・定例教育委員会(村役場)
- 26日・資源活用型堆肥製造施設立地協定締結(交流センター「ふれ愛館」)
- 26日・比曽行政区基盤整備事業説明会(比曽集会所)
- 28日・社会教育委員会(交流センター「ふれ愛館」)
- 28日・内堀雅雄福島県知事 飯館村現地視察及び意見交換(村民の森あいの沢他)
- 29日・飯館村地域おこし協力隊・大槻美友さん活動報告会・卒業式(村役場)
- 29日・教職員離任式(村役場)
- 30日・飯館村地域おこし協力隊・横山梨沙さん活動報告会(村役場)
- 31日・飯館村地域おこし協力隊・松尾洋輝さん活動報告会(村役場)

## 道の駅で忠犬ハチ公の慰霊祭



ハチ公の没日は昭和10年3月8日。今年には生誕100年の節目の年にあたります。

3月7日、「忠犬ハチ公」のオブジェを置く道の駅までい館で、村民有志の会がハチ公の慰霊祭を行いました。このハチ公のオブジェは「村民の帰りを待つ」シンボルとして、平成25年に渋谷公園通商店街振興組合から飯館村に贈られたものです。3年に1度の塗り替えには希望の里学園の生徒も協力しています。

## 「図図倉庫」参加型防災イベント



2月26日、合同会社MARBLING(マープリング)が運営する図図(ずっと)倉庫で、参加型イベント『わたしたちのぼうさい』が開催されました。協力企業の発電機を設置した会場には、停電や車中泊を想定した体験ブース、炊き出しコーナー、足湯エリアなどが設けられ、来場した皆さんが防災の多彩なアイデアを体感しました。

## 村民の新店 福島市にオープン



3月21日、長谷川芳博さん(伊丹沢)が経営する総菜屋「だんらん」(福島市岡部字内川原107)が、福島市にオープンしました。長谷川農園産の野菜を使用し、米油や米粉を使ったヘルシーなメニューがポイント。同月16・17日のレセプションには、多くの関係者らが訪れていました。今後は、集会所などへの弁当の配達も計画しています。

# はなれていても

菅野 百二さん(比曽 福島県伊達市在住)



百二さんと妻のアキノさん。素敵な布草履は百二さんの作品。

村では農家で、牛も1頭飼ってました。元は親の代からの桶屋でしたが、需要が下火になり、田んぼや畑を増やして農家になりました。私は子どもの時から田植え踊りが好きで、14歳から早乙女を踊りました。集落を回って、踊った後にはごちそうをいただいたり、どんなに疲れてもうれしかったですね。暮らしは楽ではなかったけれど、楽しい思い出がたくさんあります。

震災直後のことです。田んぼにいたら、向かいの牧草地にヘリコプターが不時着したんです。霧で方向が分からなくなったそう。食べる物もないと言うし、乗っていた4人を連れて帰りました。そしてたら操縦士を除く3人は、すぐに東京に帰らなければならぬとのこと。原発の様子を撮影に来たカメラマンだったので。ガソリンがなくて、山木屋までなら車で送り、3人はタクシーと鉄道を乗り継いで帰京。残った操縦士と私は酒を飲んで語り合いました。停電と断水の中ですね。そうした次の日、お礼にヘリコプターに乗

せると言うのです。燃料が心配だからいと断つても、どうしてもと言うので、乗せてもらって初めて故郷を上から見ました。その後は箕輪ホテルに二次避難し、松川第二仮設住宅に入居。避難の苦労はもちろんありましたが、応援の方にたくさん来ていただいたり、皆でグラウンドゴルフをやったり、楽しかったですよね。今は伊達市で息子夫婦と4人暮らし。よい所だけれど、山にいた人間には便利過ぎて、まだまだ慣れません。

毎月1日に、比曽の家に戻って、氏神様にお参りしています。箕輪に二次避難している間も欠かさず通いました。「家に帰る」と思うと、遠くも感じないものです。昨年は、3月の地震で伊達の家が修理が必要になり、3か月程、比曽の家に泊まっていた。比曽の家は、仏様の水もこぼれていなかったです。

今では仮設住宅で二緒だった人ともなかなか行き会える機会があります。今年も敬老会ができると思います。皆さんと会えることを願っています。

## 子ども読書の日

4月23日は「子ども読書の日」です。交流センターには、絵本のかくれ家という素敵な絵本コーナーがあります。4月23日は日曜日ですが、午前9時から正午まで開館しますので、ぜひ遊びに来てください。



交流センター「ふれ愛館」だより  
農業体験塾の料理教室

生涯学習課主催の「わくわく農業体験塾」では、細杉今朝代さん(前田)を講師に迎え、2月25日に料理教室を開催しました。参加した塾生7人の協体制はばっちり。キムチ、味噌飯、豚汁や漬物などを教わり、郷土料理に舌鼓を打ちました。

## 地域おこし協力隊 いいたてDIARY ダイアリー

皆さん、お久しぶりです。松尾洋輝です。ここ最近はとても暖かくなりましたね😊

僕の任期も早いもので、あと9か月です。今後は、新たにキッチンカー事業を計画しております。

皆様には夏以降に、お披露目できるよう準備を進めており、最近、収支表をずっと作りながら頭を抱えていました🥲

販売する商品なども、徐々にSNSなどでUPしていく予定ですので、チェックしてみてください!

また冬季期間はお休みしていた、凶凶倉庫のカフェも4月から再開いたします!!

お時間ある方は、ぜひコーヒーを飲みにいらしてください! それでは、また!

Twitter

Instagram

今月のライター  
飯館村地域おこし協力隊  
松尾 洋輝さん

## おいしい飯館! までの食卓

生産者の皆さんにおいしい食べ方を聞いてみよう!

今回は特別編  
いいたて希望の里学園の児童生徒が手作りした凍み餅のアレンジメニューを紹介します。



「飯館村食を考える会」の会長として郷土食の継承などに取り組んでいます。福島県食生活改善推進連絡協議会の会長も務めます。



菅野一代さん(比曽)

特別な凍み餅をおいしいアレンジで

希望の里学園の「しみじみマスタープロジェクト」に協力し、「食を考える会」で、凍み餅のアレンジメニューを考案しました。凍み餅は前日からたっぷりの水に浸し、水気を取って使います。郷土食としての伝統的な味わい方ももちろんですが、アレンジメニューも子ども達に大好評でうれしく思いました。



学園の調理室で試食会の準備をする会の皆さん。

伝統的な砂糖醤油味のアレンジ。学園が交流する鹿児島県の学校から送っていただいた黒糖を使用しました。深い味わいが格別でした。

黒糖の凍み餅



もちもち  
凍み餅入り  
ミニピザ

餃子の皮にピザソースをぬり、小さく角切りした凍み餅とサツマイモ、ミニトマト、茹でたあおばと豆をトッピング。チーズとパセリを乗せオーブントースターで3分焼きます。

餅の割れた部分も活用できるアイデアメニュー!



子どもの健やかな成長を願い  
その笑顔が輝く村を目指して

第9回

杉岡 誠 村長の  
**愛楽故郷味**

あいらくふるさとみ



子ども達の笑顔には人の心を明るくする無限の力があります。それは親世代のみならず、高齢の皆さまの活力にも繋がっていく大切な要素です。世代間の隔てなく、村のうちそとの隔てなく、お一人おひとりとってワクワクする楽しい村を実現していくために、一層の力を入れて参ります。

三寒四温を繰り返しながら、飯館村にも春が訪れております。先日、いいたて希望の里学園の卒業式、までの里のこども園の卒園式、そして日頃より村と連携して活動して頂いている福島大学食農学類の第一期生の卒業式に出席致しました。学園の卒業式は、在校生の送辞を受けての卒業生の想いの込められた答辞、二学年から八学年までの在校生全員と先生方による「明日へつなぐもの」「旅立ちの日に」の輪唱と、飯館村の学園らしい、お一人おひとりに寄り添ったセレモニーに深く感動致しました。また卒業生の皆さんは「いいたて学」の一貫として、村産「里山のつぶ」や学園産「こんぼろ」も用いて作った凍み餅用のラベル「凍み地味」や、しみたんキャラクターを福島大学と連携して作っていただきました。ユーモア溢れる創意に思わず笑みがこぼれます。

こども園の卒園式でも、飯館村の希望であり宝である子ども達の健やかなお姿を拝見して、心躍るひと時を過ごさせていただきました。保護者の皆さまの日頃よりの愛情溢れるお育みに心より感謝申し上げます。誠にありがとうございます。

そして、村では四月二日より「出産祝い金制度」を創設いたします。新たに生まれたお子様一人につき二十万円を支給するものです。また令和五年度入学生からを対象として、小学校、中学校への入学時に十万円、高等学校への入学時に二十万円を支給する「子育て応援支援金」も新設いたします。村の希望であり宝である新しい命の誕生を祝し、その羽ばたきをふるさとが応援していく、村民が昔から培ってきた心を、村の将来への布石として新たに制度化致しました。

ふるさと資源

発掘図鑑!

村からの寄附が建設費用の一部に使われた集会所は「ドンニヤイ・アンド・イイタテ・コミュニティホール」の頭文字を取って「DAIC(ダイク)」の愛称で呼ばれているそうです。



AEFAの職員さんがコロナ禍前の約束を果たし、飯館村の四季の写真を集会所に届けました。室内に飾られることになっています。

#ラオスのドンニヤイ村で

ラオスに校舎を贈ろうと動いた子ども達の取り組み、東京オリンピック・パラリンピックに向けた合宿の受け入れなど、飯館村とラオスには、心の通った交流の軌跡があります。協力をいただいているNPO法人アジア教育友好協会(AEFA/アエファ)から、ラオス・ドンニヤイ村の近況が届きました。



旧飯館中学校の生徒が贈ったのれんが使われていました!

皆さんからの情報や投稿でつくるページです

どなたでも投稿できるコーナーですので皆さんも身近な話題をどしどしお寄せください!

飯館村広報委員会(村づくり推進課企画定住係)

☎0244-42-1613

村役場のエントランスホールに飾り多くの方に観賞していただきました。



#折りびなの贈り物

今年も神奈川県在住の飯尾幸子さんから、美しい折りびなが届きました。復興への祈りと共に毎年送ってくださる折りびなです。手紙には「12年間折り続けてきましたが今回で一旦区切りをつけようと考えています。福島の皆様へ心を寄せてゆくことに変わりはありません。明日への希望を共に見続けたいと思います」と綴られていました。想いを受け取り感謝でいっぱいです。本当にありがとうございます。

ひとのうごき

誕生おめでとう



赤ちゃんの名前	親の名前	行政区
山田 幸平 くん	豊さん あゆみさん	関根・松塚



HAPPY BIRTHDAY!

ひとのうごき 令和5年2月28日現在

人口	今月(前月比)	2月1日~28日までの人口動態
●男	2,397人(-10)	転入 4人
●女	2,384人(-11)	転出 17人
計	4,781人(-21)	出生 0人
世帯数	1,805戸(-1)	死亡 8人
		(住民基本台帳人口)

おくやみ



氏名	年齢	行政区
菅野 榮子さん	86	佐須
大内 初子さん	97	関沢
大渡 千代子さん	80	二枚橋・須萱
三本松 國藏さん	87	上飯樋
佐藤 ケサノさん	93	前田
西崎 ケサノさん	87	比曾



ご冥福をお祈り申し上げます

(2月21日から3月20日までに届け出のあったものを掲載)  
※この欄に掲載を希望しない方は、届け出の時に住民係へお申し出ください。

村民広報委員  
ふじおさんの



いいたて **宝**さがし 第9回



愛犬「しょう君」!

暖かな日差しのある春の日。庄司正良さん(関沢)を、避難前の実家に訪ねてみました。今に思えば12年ぶりに会う笑顔です。

避難前は三宝製作所を経て庄司製作所を立ち上げ、主にトラックの部品作りをしていたそうです。避難時に少し寂しく思ったことは、福島市に住んでいて、飼っていた愛犬を人に預けなければならないことだったそうです。

数年前、あの時預けた犬が岐阜県を経て京都府にいることを知り、友人と逢いに行ってきたということでした。どんなにか庄司さんも愛犬も嬉しかったことだろうと思いました。

現在は福島市で奥様と二人暮らし。「しょう君」という柴犬を飼っているとのこと。とても元気でワンパクそうな愛犬でした。飯館に来るときは時々一緒に連れてくるとも話してくれました。庄司さん夫婦にとっては「しょう君」が宝なんだろうと感じながら、春の日差しの中、心あたたまる思いでした。

5年生考案の『とくさんどうぶつ』は村の特産物のイメージキャラクターです。



〈とくさんどうぶつ〉左上から、キクイノ(キクイモ)、ヒゴマ(エゴマ)、モフもふ(プロッコリー)、一郎(イチゴ)、ゴン太(ごんぼつば)、しまえ(インゲン)、あもね(あぶくまもち)、レッシー(シイタケ)、ウッシッシ(飯館の牛)、かほにゃん(いいたて雪つ娘)、ナツハム(ナツハゼ)、オリびよん(花いいたてオリンピック)

『とくさんどうぶつ』は、学園の5年生が考案したキャラクターで、村の特産物がモチーフ。紙製ファイルやパンフレット、ぬいぐるみなどのグッズに取り入れ、情報発信に活用しているそうです。3・4年生は、自分達が栽培したごんぼつば、前期課程全員で田植え・稲刈りを行った米「里山のつぶ」と、県内産もち米で作った凍み餅を持参。試食会のオリジナルレシピ(P28参照)や、9年生がデザインしたパッケージも紹介しました。他にもプログラムツールを使った「飯館牛クイズ」「いいたて検定」などが披露されました。



村役場を訪れ学びの報告や凍み餅の贈呈を行いました。

体験を通してふるさとを学んでいます  
『いいたて学』の学びを報告したよ！  
3月10日、いいたて希望の里学園の3〜5年生が来庁し、杉岡村長、遠藤教育長に、『いいたて学』の学びについて報告しました。杉岡村長はアイデアいっぱいの活動に感銘を受け、「成果品も素晴らしいが、それ以上に皆さんの温かな気持ちがうれしい」と感謝を伝えました。



『いいたて学』の学びが詰まった作品は村役場の玄関ホールに展示しました。

### いいたて希望の里学園 学校だより

3月13日に行われた学園の卒業式から、在校生代表の送辞と卒業生代表の答辞を紹介します。その想いにぜひ触れてみてください。

未来に幸あれ！

こちらのQRコードから。



「ネイティブスピーカース飯館言葉の達人たち」はお休みします。◀これまでの回はこちらのQRコードから。



飯館村 YouTube

### 〈編集後記〉

●飯館村でのびのびと過ごした子ども達。卒業・卒園式をはじめ、広報を作るこの立場でしか立ち会えない、そんな貴重な瞬間が、3月もたくさんありました。こんなにも感動的な旅立ちの瞬間をもっと多くの方に見届けてほしいなと感じます。…撮影中に涙が溢れても、最高の写真を撮ることが

目標です。(菅野)

●3月、「氣まぐれ茶屋ちえこ」の佐々木千榮子さんに教えていただき福寿草の群生に遭遇。ほっこり幸せな気持ちになりました。同じ春は二度と来ません。今年も飯館の春を心のアルバムにたくさん収めたいです。(星)

